

# とうごう 10年のあゆみ

TOGO Community



コミュニティ・センター



田熊山笠



新春の集い



いせきんぐ宗像  
(田熊石畑遺跡)



敬老お祝い会



夏まつり東郷



門松



どんど焼き

## とうごう 10年のあゆみ

編集発行／東郷地区コミュニティ運営協議会

住所 宗像市田熊6-7-25

電話 36-7711

広報委員会 柴田 正勝 赤田 義明 角釋 哲夫 松重 浩卓  
中谷 久美子 村本 仁美 吉田 毅 小樋 順一  
尾園 国久 大和 雅弘 山田 久 塩野 夕子



東郷地区コミュニティ運営協議会

平成26年1月

# 挨拶

東郷地区コミュニティ  
運営協議会会長

石田 剛明



物事の実現を人に例えますと、まず胎動の時期があり、産みの苦しみを経て、無事出生となりますが、当協議会は平成15年11月、この手順を通じて発足に至ったことと思います。ここにめでたく10周年を迎えるに当たり、組織発足のため、大変ご尽力をいただいた諸先輩とご指導ご協力をいただいた市当局の関係者の皆様、そしてお知恵をいただいたであろう先発協議会の関係者の皆様に、今日世話役を受け持つ者として、心から敬意を表し、感謝を申し上げる次第であります。そしてこの10年、4代の会長様を中心として当協議会の活動を先導してくださった各自治会代表者、外関係者、事務局の皆様にはその後の育ての苦労役を努めていただき、改めてお礼と感謝を申し上げます。

お陰を持ちまして、当協議会は内部の構えも4部会として整えられ、順調な活動を続けることができておりますが、会がこの度、社会的に真の信頼、評価を得るためには、なお一段の施策推進努力が必要であろうと感ずるところであります。安全安心の近隣社会の構築が会員の多くの皆様の異論のない大きな一つの目標であると考えますが、現下の少子、高齢化の進む中で、この現実とどのように調和を図っていくか、施策の工夫に皆様からのお知恵を願うところであります。

# 祝辞

宗像市長

谷井 博美



本年、東郷地区コミュニティ運営協議会が、発足10周年という節目の年を迎えられたことを、心からお祝い申し上げます。

また、日ごろから皆さま方には、地域のよりよいまちづくりのため、多大なご尽力をいただいておりますとともに、これまで活発なコミュニティ活動が展開され、他地区のモデルとなっていたいただいていることに対し、改めてお礼申し上げます。

私は「元氣な市民と、元氣なまちづくり」を基本理念に据え、市民の皆様とともにまちづくりを進めているところでありますが、コミュニティ活動は、まさにまちづくりの基本であります。

皆様を力合わせてコミュニティ活動に取り組んでいただくことが、宗像市全体の活性化に繋がっていくものと考えております。

今後とも、「東郷地区まちづくり計画」に基づき、事業・活動を実施に移していただきながら、さらなる住みよいまちづくりを目指して取り組まれますことをご期待申し上げます。

結びになりますが、今後ますますのご発展と皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたします。

## 「コミュニティをいっばん支えたひとたちへ」

東郷地区コミュニティ運営協議会創立10周年と聴き、全国に先駆けてまちづくりに取り組まれた原田元市長の功績を思い出す。情熱的で積極的に推進され、市の職員も一丸となつて取り組んでもらったと思う。まちづくりの原動力となり、現在も発展していると思う。原田元市長の思いは、宗像はひとつであったはず。いつしか、宗像にふたつの市ができて、宗像はひとつという言葉が聞かなくなつた。「沖ノ島」、「宗像三女神」、「宮地嶽神社」、「宗像七浦」、「四塚」、「許斐山」、「鎮国寺」、「小早川隆景菩提寺」、「勤王の志士早川勇」等々、宗像古来の歴史遺産は掘り起こす必要がある。今のままだと、古里は文明のかなたに消えてしまう。

そういう現代に、まちづくりのため日夜、コミュニティ運営協議会の設立草案づくり、規約、まちづくり部会、公民館活動部会、青少年育成部会、健康福祉部会の運営規則の成案に努力された事務局員の功績を10周年に際したたえたい。

第2代会長 菅 義治

## ～設立当時の記憶～

自分達が住む地域は、自分達で守り守らせる。

東郷地区のコミュニティ設立は、平成15年11月1日に区会長を中心に運営委員会、役員会、市職員等の出席の基に設立総会を実施し、多くの議題について審議を行い、万条賛成多数で承認されて、東郷地区のコミュニティが設立の運びとなりました。

早いもので1年目を目前にしておりますが、この約1年間で4つの部会組織が完成し、今現在、月に1〜2度の会合が行われ、部会活動も軌道に乗つて来たところですが。地域コミュニティを更に発展させるには、人と人とがふれあい、考えや意見を気軽に言える雰囲気が必要であると思います。

自分たちの町は自分達で住みやすくする、明るくする、そして活動に参加する人によつてもらおうではなく、みんなを力に合わせて街づくりを行い、東郷地区の今後の発展の為に現状にあまえず、一歩前進して行くにはありませんか。お互いの幸福のために、力を合わせて頑張ろう。

初代会長 池園 五郎

(平成16年11月発行 創刊号より引用)

役職	平成15年度		平成16年度		平成17年度	
	氏名	行政区	氏名	行政区	氏名	行政区
会長	池園 五郎	東郷町	池園 五郎	東郷町	池園 五郎	東郷町
副会長	沖 宗利	東郷町	沖 宗利	東郷町	沖 宗利	東郷町
副会長	中村 まさ子	田熊町	中村 まさ子	田熊町	中村 まさ子	田熊町
事務局長	内田 清二	東郷村	石松 茂昭	田熊町	石松 茂昭	田熊町
環境整備部会長	馬場添 保	三倉	菅 義治	田熊町	菅 義治	田熊町
青少年育成部会長	石松 茂昭	田熊町	馬目 浩太郎	東郷町	馬目 浩太郎	東郷町
健康福祉部会長	安部 治弘	大井台	安部 治弘	大井台	安部 治弘	大井台
公民館活動部会長	内田 治男	東郷村	赤田 義明	東郷町	梶原 富也	久原
会計	角釋 哲夫	東郷町	角釋 哲夫	東郷町	角釋 哲夫	東郷町
会計監査	石澤 健一	平井	石澤 健一	平井	石澤 健一	平井
会計監査	渡 晃章	村山田	渡 晃章	村山田	渡 晃章	村山田

(3、4頁に続く)

## 歴代役員一覧

# 自治区別人口世帯数状況表 14 地区比較表

自治会名	人口(人)		世帯数(戸)		割合(0~14歳)%		割合(15~64歳)%		割合(65歳以上)%	
	10年前	現在	10年前	現在	10年前	現在	10年前	現在	10年前	現在
久原	286	277	104	117	5.9	11.2	66.4	51.6	27.6	37.2
田熊	1,183	1,281	465	554	15.4	17.7	67.0	63.2	17.6	19.0
大井	469	398	167	161	11.5	12.1	64.2	53.8	24.3	34.2
用山	155	144	51	68	10.3	11.1	56.8	50.7	32.9	38.2
村山田	324	344	118	144	7.4	12.2	66.4	59.6	26.2	28.2
大井台	928	852	312	350	9.4	9.4	76.9	58.1	13.7	32.5
和歌美台	369	663	106	181	33.9	28.1	64.2	66.5	1.9	5.4
大井南		375		102		44.0		53.6		2.4
東郷村	723	654	270	290	13.1	12.2	64.3	59.8	22.5	28.0
東郷町	1,378	1,389	558	591	17.8	17.6	63.7	60.3	18.5	22.1
田熊町	1,510	1,525	603	695	13.7	12.7	66.0	64.0	20.3	23.3
平井	902	952	341	418	10.5	11.1	65.5	57.7	23.9	31.2
三倉	673	662	257	280	8.5	11.2	65.2	54.2	26.3	34.6
釈迦院	65	69	22	34	10.8	7.2	60.0	39.1	29.2	53.6
地区全体	9,070	9,697	3,472	4,091	13.4	15.4	66.2	59.5	20.5	25.0

10年前(平成15年11月末)  
現在(平成25年11月末)



宗像町役場(昭和50年頃)



宗像市制施行パレード(昭和56年)



東郷駅(昭和50年3月)



大社鳥居(昭和37年頃 東郷橋付近)

役職	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	氏名	行政区	氏名	行政区	氏名	行政区	氏名	行政区								
会長	菅 義治	田熊町	菅 義治	田熊町	安部 治弘	大井台	渡 晃章	村山田	渡 晃章	村山田	渡 晃章	村山田	渡 晃章	村山田	石田 剛明	東郷村
副会長	赤田 義明	東郷町	安部 治弘	大井台	藤川 忠夫	東郷村	北島 匡朗	大井台	浅川 秀生	村山田	浅川 秀生	村山田	具島 一裕	三倉	藤原 嗣泰	東郷村
副会長	大場 末彦	田熊	宮澤 忠弘	平井	渡 晃章	村山田	藤 直治	東郷町	柳川 正子	平井	柳川 正子	平井	柳川 正子	平井	越智 靖子	三倉
区長会代表	吉武 久信	久原	内田 治男	東郷村	赤田 義明	東郷町	松重 浩卓	大井	藤原 嗣泰	東郷村	長谷川 和弘	大井	安部 義之	東郷村	赤田 義明	東郷町
区長会代表	力丸 益實	田熊	安部 幸敏	田熊	村上 英明	田熊	梶原 富也	久原	山下 重實	田熊	野中 敏治	久原	安東 昭治	田熊	石松 茂昭	田熊町
区長会代表	北島 匡朗	大井台	石澤 健一	平井	石澤 健一	平井	井村 憲昭	田熊町	河野 道弘	平井	藤城 幸雄	田熊	柴田 正勝	大井台	長谷 順	大井
区長会代表	宮田 善弘	平井	北島 匡朗	大井台	北島 匡朗	大井台	河野 道弘	平井	毛利 隆明	和歌美台	吉田 毅	村山田	山田 憲勝	平井	池田 豊吉	平井
事務局長	石松 茂昭	田熊町	山田 久	三倉	山田 久	三倉	山田 久	三倉	山田 久	三倉						
まちづくり部会長	永島 千秋	東郷村	龍角 一甫	久原	龍角 一甫	久原	石田 剛明	東郷村	沖 洋行	用山	井村 憲昭	田熊町	馬目 浩太郎	東郷町	水上 勝則	久原
青少年育成部会長	藤川 忠夫	東郷村	藤川 忠夫	東郷村	藤 直治	東郷町	馬目 浩太郎	東郷町	藤川 忠夫	東郷村	吉田 隆俊	村山田	天野 勤	大井	天野 勤	大井
健康福祉部会長	安部 治弘	大井台	浅川 秀生	村山田	藤原 吉満	田熊	久保 博	三倉	久保 博	三倉	久保 博	三倉	水上勝則	久原	網脇 公子	東郷町
公民館活動部会長	宮澤 忠弘	平井	内田 清二	東郷村	安部 良紀	東郷町	松江 謙二	三倉	大坪 英之	田熊町	安東 昭治	田熊	吉田 誠	大井	吉田 誠	大井
会計	志岐 茂則	田熊	松本 功	東郷町	松本 功	東郷町	吉武 博文	用山	吉武 博文	用山	久良木 重則	大井台	久良木 重則	大井台	角積 哲夫	東郷町
会計監査	牟田 圭輔	三倉	吉武 博文	用山	宮澤 忠弘	平井	内田 清二	東郷村	内田 清二	東郷村	内田 清二	東郷村	志岐茂則	田熊	志岐 茂則	田熊
会計監査	花田 良博	村山田	水上 勝則	久原	安部 幸敏	田熊	菅 義治	田熊町	藤 直治	東郷町	藤 直治	東郷町	藤 直治	東郷町	松重 浩卓	大井



大井ダム(平成24年4月)

平成26年 (2014年)	1月	新春の集いで10周年記念式典を実施
平成25年 (2013年)	3月	「コミュニティ・センターとうごう」が市の広報コンクールで優秀賞を受賞
平成25年 (2013年)	4月	シルバー農園が健康福祉部会へ参画
平成25年 (2013年)	6月	田熊石畑遺跡「いせきんぐ宗像」がプレオープン
平成25年 (2013年)	11月	東郷コミュニティとして10年を迎える
平成24年 (2012年)	3月	北部福岡緊急連絡管(水道水)工事完成
平成24年 (2012年)	4月	交通安全指導員会がまちづくり部会へ参画
平成24年 (2012年)	11月	小川洋県知事が「ふるさと訪問」で来館 「東郷地区まちづくり計画」の見直し実施
平成23年 (2011年)	1月	コミュニティ・センター東郷会館オープン5周年
平成23年 (2011年)	7月	東郷コミセンで、住民票等の交付サービスを開始
平成23年 (2011年)	9月	東郷コミセン「敬老お祝い会」を開始 「飲酒運転撲滅宣言」の取り組み (3218筆の署名)
平成23年 (2011年)	10月	ふれあいバスが東郷コミセンに乗り入れ開始
平成23年 (2011年)	11月	東郷駅北口駅前広場を都市計画決定(2日)
平成22年 (2010年)	2月	田熊石畑遺跡が国史跡の指定を受ける
平成22年 (2010年)	3月	「コミュニティ・センターとうごう」が市の広報コンクールで最優秀賞を受賞
平成22年 (2010年)	4月	コミセンに太陽光発電装置を設置 「子どもの居場所づくり(地域子ども教室)」開始
平成21年 (2009年)	1月	第1回「新春の集い」開催(11日)
平成21年 (2009年)	2月	「コミュニティ・センターとうごう」が市の広報コンクールで優秀賞を受賞
平成21年 (2009年)	4月	東郷地区自主防災会を立上 組織編成表完成
平成21年 (2009年)	7月	「夏まつり東郷2009」が大雨のため中止
平成21年 (2009年)	11月	コミセンにAEDを設置 大井南自治会が設立
平成20年 (2008年)	2月	「コミュニティ・センターとうごう」が市の広報コンクールで奨励賞を受賞
平成20年 (2008年)	3月	コミセン駐車場の舗装化完成
平成20年 (2008年)	5月	「東郷地区まちづくり計画」を策定
平成20年 (2008年)	9月	コミセン前の都市計画道路宗像福岡線が開通
平成20年 (2008年)	10月	第1回「秋季文化祭」開催(5日) (19日)
平成19年 (2007年)	11月	第16回九州実業団対抗女子駅伝大会(5日)
平成19年 (2007年)	12月	「コミュニティ基本構想・基本計画」を策定 東郷コミセンのシンボルマークを決定
平成18年 (2006年)	1月	センター開館記念式典(1日)
平成18年 (2006年)	3月	センター貸館を開始(4日)
平成18年 (2006年)	7月	あひるクラブ・巡回健康相談開始(於コミセン) 七夕かざり作り コミセン図書の貸し出し開始
平成18年 (2006年)	9月	第1回まちづくりワークショップ開催 まちづくり懇談会開催
平成18年 (2006年)	10月	地域子ども会・クリスマス会
平成18年 (2006年)	12月	まちづくり交付金の本格的な導入 (各種補助金の統合)
平成17年 (2005年)	4月	宗像市市民参画、協働及びコミュニティ活動の推進に関する条例を施行
平成17年 (2005年)	6月	コミュニティ・センター建設ワークショップ開催 (市内6番目のコミュニティ・センター)
平成17年 (2005年)	12月	まちづくり交付金交付規則を制定 (行政区長委嘱制度廃止)
平成16年 (2004年)	11月	コミュニティ・センター用地造成工事着工
平成16年 (2004年)	11月	運営協議会設立総会(於：宗像市役所会議室)
平成15年 (2003年)	9月	合併後もコミュニティ推進事業を継承
平成15年 (2003年)	4月	3地区(赤間、河東、東郷)にコミュニティ運営協議会を設立(東郷：11月1日発足)
平成15年 (2003年)	4月	コミュニティ・センター建設ワークショップ開催 (16年1月まで6回開催)
平成14年 (2002年)	8月	東郷地区コミュニティ準備委員会設立(10回開催)
平成14年 (2002年)	4月	旧宗像市と旧玄海町が合併し、新しい宗像市が誕生(1日)



小川福岡県知事 コミセンに来館(平成24年)



飲酒運転撲滅宣言(平成23年)



センター開館式典(平成18年)



コミュニティ・センター建設ワークショップ  
(平成15年)



ふれあいバス コミセン乗り入れ  
(平成23年)



いせきんぐ宗像プレオープン(平成25年)



文化祭ステージ(平成25年)



センター建設工事(平成17年)

# まちづくり部会

まちづくり部会は協議会組織内の一つであり、お互いの連携を取りながら、豊かで活力ある、住みよい環境づくりを目的として活動しています。

部会は区長会、老人クラブ、消防団、商工会、交通安全指導委員会その他（有識者）によって構成され、部会の目的を達成するために、

- ① 地域内一斉清掃事業
- ② ゴミ減量・分別収集
- ③ 環境保全事業
- ④ 公害対策事業
- ⑤ 地域内防災活動事業
- ⑥ 交通安全、防犯対策事業
- ⑦ 地域づくり事業
- ⑧ その他目的達成に必要な事項を協議して推進しています。

近年の具体的活動としては、自主防災組織づくり、田熊石畑遺跡対策、東郷駅北口整備対策、大井ダム整備対策、河川の一斉清掃、地域懇談会、防災マップ作り、部会研修、交流会などがあり、継続、活動中です。

部会長 水上 勝則



自主防災組織づくり推進事業



地域清掃活動

# 青少年育成部会

青少年育成部会は、『青少年の健全育成活動の推進』を目標に活動しています。部会は、各自治会の青少年育成会・青少年指導員会・子ども会育成会・東郷小学校及びPTA地域委員・中央中学校及びPTA地域委員・主任児童委員・地域サポートで構成され各種の事業を推進しています。

育成部会の主な事業は、子どもみこし、夏まつり東郷、どんど焼き、街頭パトロール、あひるクラブ、地域子ども教室、ドッジビー大会等を行っています。

これからも、地域性を活かした将来に『夢を持てる・活気ある』青少年育成活動に取り組みたいと思います。

部会長 天野 勤



子どもみこし



地域子ども教室「かかしづくり」

健康福祉部会は、

- ① 民生・児童委員会
- ② 福祉会
- ③ ヘルス推進員
- ④ 老人クラブ
- ⑤ 食生活改善推進委員
- ⑥ シルバー農園
- ⑦ スポーツ推進委員
- ⑧ 有識者

によって構成されています。

健康で明るい地域福祉の推進を図ることを目的とし、お互いの連携をとりながら活動しています。

主な活動としては、料理教室・夏まつり東郷・親善グラウンドゴルフ大会・医療講演会・福祉講演会・歩こう会・秋季文化祭・お手玉大会などです。

今後もコミセン主催行事へ積極的に参画し、豊かな地域づくりに努力してまいります。

部会長 網脇 公子



はじめてのヨガ



お手玉教室

公民館活動部会は、14地区自治公民館長で構成する部会です。

主要目標として、『スポーツ・文化事業の推進と地域間交流の活性化』を掲げ各種事業に取り組んでいます。

具体的には、親善グラウンドゴルフ大会（健康福祉部会共催）・親善ソフトボール大会・年末餅つき・どんど焼き（青少年育成部会共催）親善囲碁大会等々、地域の方々並びに関係者の協力をいただき開催しています。

これら事業を通して、皆様方の出会いのきっかけになり、さらに強いつながりになるように願って活動しています。

部会長 吉田 誠



親善ソフトボール大会



親善囲碁大会

# 健康福祉部会

# 公民館活動部会

# 広報委員会

広報委員会は、東郷地区住民の連帯や協調を図っていくために、必要な情報を提供することを目的としています。

委員会は、役員会から2人、4部会から各2人、有識者若干名の選出で構成され、委員会の目的を達成するための事業として、

- ① 広報紙の編集・発行
- ② コミュニティ活動に必要な学習・調査・研究
- ③ その他広報委員会の目的達成に必要な事項

を行っています。

具体的な活動としては、広報紙の「東郷地区コミュニティだより」、「コミュニティ・センターとうごう」（2・6・10月号）を両面カラー印刷で発行しています。

平成25年12月からは、東郷地区コミュニティ・センターのホームページを開設し、更なる地域情報の発信が期待されます。26年1月には「東郷地区コミュニティ運営協議会発足10周年記念誌」を発行します。

広報委員長 柴田 正勝



最優秀賞(平成22年)



優秀賞  
(平成21年・平成25年)



奨励賞(平成20年)

# 事務局

現在、事務局長はじめ事務局員8人体制で役割を担っています。田熊町公民館の仮事務所時代は2人。協議会発足直後では3人で業務を担当していました。

平成18年4月、東郷地区のコミュニティ活動の拠点として東郷地区コミュニティ・センターが開館しました。以来現行の体制で各種業務を遂行しています。

センターの運営と管理、協議会の4部会と広報委員会や各実行委員会の活動を分担し補佐的業務を行っています。

年々各部会活動や催事が活発になり、又夏まつり東郷や秋季文化祭など全体行事も大きくなっています。

今後も、部会の方や地域の皆様のご協力とご理解をいただきしっかりと頑張っていきたいと思っています。

事務局長 山田 久



## 東郷地区コミュニティ運営協議会組織図

